

## 寄贈された巡回バスの納車式

笠松町婦人会より寄贈された（一月号でお知らせ）公共施設巡回町民バスの納車式が三月二十日に役場前で行われ、馬淵婦人会長から「お年寄りや身体の不自由なかななどの交通の足として、是非役立ててください」と広江町長にキーのレプリカが手渡されました。

公共施設巡回町民バスは、四月から三台のローテーションで運行しています。



広江町長にキーのレプリカを手渡す馬淵婦人会長（左）

## 「大名行列お奴」全校生徒に披露

### 笠松中学校

四月十四日の春まつりに向け「大名行列お奴」の練習を重ねてきた笠松中学校の生徒五十四人が、十五日に同校体育館でお奴の演技を全校生徒の前で披露しました。

これは、郷土の伝統芸能を自分たちの手で守り伝えるために練習を重ねた生徒たちを中心に、学校とお奴保存会が毎年行う行事です。

また、今年も笠松小学校六年生児童が先輩の演技を見学しました。元気な掛け声とともに毛槍や台傘の投げ渡しが成功する度に見学の生徒や児童、先生から盛んな拍手が起りました。



堂々と演技を披露する生徒たち

## 町老人クラブ連合会と子どもたちの交流

### 小学校児童ふれあい講座

町老人クラブ連合会主催の「町老人クラブ連合会と小学校児童ふれあい講座」が三月十七日、福祉会館で開催されました。この講座は、昔から親から子

へ伝えられてきた「素朴な遊び」や「軽スポーツ」などを通して、おじいさん、おばあさんの人生経験を少しでも伝え、児童の心豊かな育成を目指すことが目的です。当日は、老人クラブの役員と小学校四・五・六年生の児童二十九人が参加しました。

ほう葉をくり抜き樹脂で固め、写真を貼って壁飾りを作る「ほう葉講座」や和紙をちぎって作品を作る「ちぎり絵講座」では、おじいさん、おばあさんの指導のもと子どもたちは熱心に作品作りに取り組んでいました。



訪問先のお年寄りとは和気あいの奉仕団の皆さん

### 町赤十字奉仕団

## ケアハウス「リバーサイド養老」を訪川

町赤十字奉仕団の皆さんが三月十五日、養老町のケアハウス「リバーサイド養老」を訪れ、入所されているお年寄りを元気づけられました。

当日は、団員五十人が参加され施設長さんのお話を聞いた後、五人ずつのグループになり、お年寄りから趣味の話や昔話を聞いたり、簡単なレクリエーションを行うなどいっしょに楽しいひとときを過ごされました。



老人クラブ会員の親切な指導でちぎり絵に挑戦！



老人クラブの会員にグラウンド・ゴルフのこつを教わる子どもたち

また、グラウンド・ゴルフやペタンクも行われ、競技ルールの説明を受けた後、子どもたちとゲームで交流を深めました。